



活力ある秋田 Vol. 52

秋田市にシンボルを!

[秋田市観光クチコミ大使] 鹿島建設(株)東北支店 専任役 **金子 益雄氏**

2000年1月、日本海沿岸東北自動車道五城目工事の所長として秋田に赴任しました。1973年の入社以来、福島→盛岡→八戸→一戸→会津→西会津→鶴岡→仙台と、東北5県の高速道路現場を廻り、待ち望んでいた最後の県「秋田」にやっと辿り着きました。

吹雪の夕方、秋田新幹線から駅前に降り立ちました。街の賑やかさには少し寂しいものがありました。未開発の沿岸自動車道を早く健全に完成させ、秋田の経済を活性化させたい気持ちで燃えていました。当日早速歓迎会がありましたが、3次会で事件?発生。当時の営業所長から「和服の似合う秋田美人の店に連れてってやる」と連れて行かれたお店でのことです。

所長「出身は秋田のどこだっけ?」

ママ「え!新潟ヨ」

一同「……………」

実は、私は新潟出身なので、更に掘り下げて確認。何と田舎町の小学校、中学校とも同窓でした。秋田美人と新潟美人の合体です。

五城目には約2年半お世話になりましたが、今までの工事経験の中で最も楽しく、燃えた現場でした。それは地元の方々の温かい人間性に触れながら全面的な協力を得て、一体感で工事を進めることができたからだと思っています。東北6県の中で秋田が「心の故郷」と感じている所以です。

また、秋田県内全域の高速自動車道施工連絡協議会(108JV)の代表として、県内関係諸機関の皆様から多大なご協力をいただきました。

工事が竣工し、2002年10月秋田営業所の所長として残ることになり、県内の営業と工事の統括業務を担当することになりました。秋田ロータリークラブ会員、秋田商工会議所常議員として6年間、会社はもちろんですが、愛する秋田発展のため、微力ながら努力いたしました。

先月改めて秋田市内をじっくり廻る機会があり、「活力ある秋田」「観光立県秋田」を更に飛躍させる為に、街づくりの観点から自分なりに構想を描いてみました。私の構想の原点は、人を引き寄せるシンボルの構築です。

- ① 駅前のアーケード街を「エリアなかいち」まで延伸し、秋田の総合物産通りの構築
- ② 駅前に秋田市内を一望できるシンボルタワーか高層ビルの構築(PFI)
- ③ 久保田城御隅櫓が秋田市の真のシンボルとなるように、千秋公園の環境改善
- ④ セリオン周りに大々的な秋田の総合物産市場の構築

そして秋田には豊かな自然、四季の変化、美・技・食・祭・温・酒と、観光資源は充分豊富であることは自他共に認めることです。更に秋田県人の「人間性の豊かさ」を勘案すれば、素晴らしい観光立県になることは間違いありません。各商工会議所が秋田観光全体のネットワークを構築し、「日本一の観光立県」に向け、官民がスクラムを組むことが大切だと考えます。

現在私は、仙台で東北の震災復興工事関連業務を担当していますが、昨年秋田市観光クチコミ大使の委嘱を受け、微力ながら東北管内の営業及び講演の時々「秋田の魅力と観光」について秋田を愛する一人としてPRさせて貰っております。

「がんばろう秋田!」

■略歴

- 1973年 鹿島建設入社
- 2000年 日本海沿岸東北自動車道五城目工事 所長
- 2002年 秋田営業所 所長
- 2008年 東北支店 支店次長
- 2009年 東北支店 専任役